

授業概要

1990年代初頭の米ソ冷戦体制の崩壊で、経済活動のグローバル化が急速に進展してきました。財やサービスなどの貿易、直接投資、証券投資、銀行融資などの資金、ヒトなどが国境を越えて活発に移動するようになってきました。

グローバル化の進展によって、世界の国々の相互依存が高まってきています。

世界には、日米欧諸国や新興諸国・発展途上国がありますが、日本などは、発展途上国などに積極的に開発援助などをおこなっています。

グローバル化の進展により、世界は相互依存を強め、経済を成長させてきましたが、その負の側面として、ひとびとの経済格差が拡大してきています。

アメリカは、トランプ政権の誕生で自国中心主義をかかげ、保護主義的な政策を進め、TPP(環太平洋経済連携協定)から離脱しました。

本講義では、グローバル化の進展と現状についてあきらかにします。

授業計画

| | |
|------|---------------------|
| 第1回 | 講義の概要 |
| 第2回 | 貿易はなぜおこなわれるか |
| 第3回 | 比較優位の理論 |
| 第4回 | 貿易政策とは-関税と非関税障壁 |
| 第5回 | 世界貿易体制-WTOとは |
| 第6回 | TPP(環太平洋経済連携協定)の概要 |
| 第7回 | TPP(環太平洋経済連携協定)の問題点 |
| 第8回 | FTAとは |
| 第9回 | NAFTAとは |
| 第10回 | EUとユーロとは |
| 第11回 | 海外投資はどのように行われるか |
| 第12回 | 国際的な資金の流れ |
| 第13回 | 為替相場の決まり方 |
| 第14回 | 開発援助の在り方 |
| 第15回 | 世界の貧困をなくすには |
| 第16回 | 期末試験 |

到達目標

トランプ政権の誕生で、世界の貿易や経済は大きく変容しつつあります。グローバル化の進展によって世界は経済成長を実現してきましたが、貧困問題はなかなか克服されていません。どうしてなのかを理解してもらうことを目標としています。

世界経済の進むべき道を考えてみましょう。

履修上の注意

現実の国際経済について講義しますので、新聞などをよく読んでください。30分以上の遅刻は欠席とし、30分以内の遅刻二回で欠席一回とします。

国際金融論を履修しておく、現状の国際経済の実態をより深く理解することができます。

予習・復習

講義の予習・復習をしてください。現実の世界経済について講義しますので、新聞などをよく読んでください。

評価方法

中間試験(30%)と期末試験(70%)によって総合的に評価します。

テキスト

教科書は使用せず、適宜、レシメなどを配布します。